



同窓会設立20周年

沼津高専

No. 11

同窓会だより

昭和63年4月発行 発行責任者 諏訪部 豊

沼津工業高等専門学校同窓会

〒410 沼津市大岡3600 沼津工業高等専門学校内

TEL 0559-21-2700 郵便振替 東京2-102151

ALUMNI BULLETIN OF NUMAZU COLLEGE OF TECHNOLOGY

新三役あいさつ

木戸 実(M6)

昨年11月、母校創立25周年、同窓会設立20周年の記念式典へ出席しました。記念碑を前にして、今迄に何度となく歌ったであろう校歌を再び歌うと、胸にこみ上がるものを感じました。先輩、先人の方々からの貴重な継承、そして、これからも何らかの格好で続いていくであろう、そんな時代の流れをも感じさせる一時でした。その後の懇親会では又違った雰囲気、毎日の生活から違った断面を持って、面白く、興味深く、豊かな気持ちでもって、いろいろな方々とお話できました。あくせくした毎日に埋もれば埋もれる程、何か足りない物が欲しくなりますが、その一つを味わったような気がしました。

この度二年間、同窓会長の役目を負う機会を得、短い期間でも恩返しをしておきたい気がします。同窓会のあり方、利用の仕方には様々な考えがあると思いますが、できるだけ自由度の高い、人それぞれの考え方が受け入れられる、「ひとつの良い環境」だと思っています。その為に、会員名簿をしっかりとメンテナンスする事、時にふれ催しの機会を持つ事、この二つが最低限に必要で大事な事だと考えています。皆さま方からの役員への励まし、宜しくお願い致します。

四條 弘次(E16)

私、このたび昭和63年度、64年度の、同窓会副会長の大事を引き受ける事となりました、E16期の四條弘次です。

私は卒業後、同窓会の理事をしていませんでしたので、同窓会の組織、活動などについて、ほとんど知りませんし、正直なところ、あまり興味もありませんでした。(今までのところは、です!)しかし、考えてみますと大半の卒業生にとっては、卒業後、母校と関わりを持つのは、同窓会を通しての事になると思います。ですから卒業と同時に全国に散らばっていった、かつて5年間もの長い間、同じ教室で学びあった友人達の消息を知り、また旧交を温めあう絶好のチャンスが、同窓会の場ではないでしょうか。そういう意味からしても、同窓会は盛り上げていかなくてはならないのではないかと感じます。ですから、このたび縁あって大役を引き受ける事となりましたので、微力ではありますが、同窓会のより一層の発展のために、少しでも役にたてるように、努力したいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

鷺巣 守一(M13)

今回、新しく事務長を務めさせていただくことになりました鷺巣です。早いもので、ついこの前卒業したかと思っていたのが、もう9年にもなっていたんですね。同窓会の理事として、卒業後何年かは、しっかり活動に参加させていただいたのですが、いつのころからか、仕事

の忙しいのを理由に(これは事実です。)休業となってしまう、各理事をはじめ、各同窓会員に御迷惑をかけてしまいました。今回事務長という大役を引き受けることになりましたが、なにせ休業中であったため、何をやるのかも全くわからないのが現状です。とにかく、頑張っ行っていきたいと思いますので、みなさんよろしくお願いします。

また、同窓会総会の際は多数の御参加をお願いします。簡単ですが、新任のあいさつに変えさせていただきます。

新三役紹介

- 会 長 木戸 実(M6) (株)明電舎
- 副会長 四條 弘次(E16) 東芝機械(株)
- 事務長 鷺巣 守一(M13) 明電ソフトウェア(株)
- 補 佐 工藤 勝次(C9)
- 監 事 柘植 宗康(M3)
- 久保田 悦郎(M15)

総会報告

事務長 平松 雅彦(M12)

昭和62年11月1日沼津高専図書館視聴覚教室において昭和62年度同窓会総会が行われました。皆様御承知のとおり今年度は、学校創立25周年、同窓会創設20周年という記念すべき年であり、その記念式展をひかえて多数の同窓生の御出席のもとで無事開催されました。

議長団には、議長 保科正之氏(E9)、副議長 久松浩二氏(M15)、書記 山本さわ子さん(C15)がそれぞれ選出され、諏訪部同窓会長、(E9)のあいさつの後、議事に入りました。

以下に主な議事内容を示します。

- 1) 昭和60年度、61年度事業報告(会長)
- 2) 昭和60年度、61年度決算報告(会計 坂井氏(M6))
- 3) 昭和60年度、61年度会計監査報告(監事 漆畑氏(E1))
- 4) 昭和62年度中間事業報告(会長)
- 5) 昭和62年度予算案(事務長)

以上の議事につきましては、満場一致にて御承認をいただきましたが、審議事項でありました「同窓会会則の一部改正」及び報告事項でありました「支部交付金の運用方法」についてここに御報告致します。

同窓会会則の改正は、昭和63年度が新名簿発行の年にあたる為、発行に先立ち、三役及び理事会にて会則の見直しを行なってきましたが、以下の如く改正となりました。

番号	現行	改正
1	第二章 目的および事業 第3条 本会は会員相互の連絡、親睦と母校との連絡をはかり、工業技術振興に寄与することを目的とする。 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行なう。 一 会員相互の連絡に関する事。 二 会員名簿の発行に関する事。 三 会誌等の発行に関する事。 四 その他必要な事業。	(同左) 四 母校在校生に対する援助に関する事。 五 その他必要な事業。

番号	現行	改正
2	第四章 役員および職務 第6条 本会に次の役員を置く。 一 名誉会長 1名 二 会長 1名 三 副会長 1名 四 事務長 1名 五 理事 若干名 六 監事 2名 七 顧問 若干名	(同左) 七 名誉顧問 若干名 八 顧問 若干名
3	第五章 役員の選出および任期 第9条 名誉会長には沼津工業高等専門学校長を推薦する。 2 顧問は特別会員の中から理事会が推薦し会長が委嘱する。	*追加* 3 名誉顧問は長年に渡り本会顧問を歴任し本会に対して特に貢献のあった特別会員の中から理事会が推薦し会長が委嘱する。
4	附則	*追加* 7 この改正会則は昭和62年11月1日から施行する。(昭和62年11月1日改正)

支部交付金の運用につきましては、前会長の柘植氏(M3)を委員長と致します支部対策委員会にてその規定の原案を作成し、理事会にて承認を得ましたが、その内容を以下に示します。

- (1) 支部設立の場合の援助
支部を設立するときは、本部に対し、必要な事項を文書で送付して理事会の承認を受ける。
本部は、承認された支部を登録し、設立援助金を送ることができる。援助金の額については、その都度理事会で決める。
また本部は、支部登録を抹消することができる。
本部へ送る資料
支部名・対象地域(地域内の全会員を対象とする)会則・組織図・役員名・会員名簿・振込先
- (2) 定期的な援助
本部は、毎年1月31日から3月31日の間、各支部から援助の申請書類を受付ける。
本部は、受付期間内に申請を出した支部に対して、理事会の承認により援助金を送ることができる。援助金の額は、その都度理事会で決定する。
申請書類の内容
支部名・担当者名・前年度会計報告・活動予定・会員名簿・予算・振込先

ここで第二章第4条四項の「母校在校生に対する援助に関する事」につきましては、突発的な家庭の事情により、勉学を続けることができなくなった学生に対して救済の手を差延べようというもので、学校側よりの強い要望もあり、年間授業料相当額の12万円を毎年引きあてすることに決定致しました。

尚、運用上の細則については、現在作成中であります。

また第四章第6条七項で「名誉顧問」職が置かれていましたが、理事会の推薦により同窓会に多大な貢献のありました市川良輔名誉教授に名誉顧問をお願い致しました。

最後に次期三役には、会長木戸実氏(M6)、副会長四條弘次氏(E16)、事務長鷲巢守一氏(M13)が承認され、昭和63年度より2年間その大役をお願いすることとなりました。

以上を以ってすべての議事が終了し、山本副会長(M17)の閉会の辞で昭和62年度の同窓会総会が閉会の運びとなりました。

尚これまでの理事をはじめとして、顧問教官、職員の皆様方の御協力に感謝するとともに、今後の沼津高専の発展を祈って総会報告を終わらせていただきます。

決算報告書及び予算案

昭和62年度運営会計経費収支予算案

拠出収入（昭和62年4月1日～昭和63年3月31日）

科目	予算額
終身会費	2,370,000
受取利息	700,000
雑収入	100,000
合計	3,170,000

経費支出

科目	予算額
会議費	300,000
通信費	600,000
事務用品費	10,000
慶弔費	150,000
同窓会だより	200,000
印刷費	200,000
郵便振替料金	20,000
支部交付金	150,000
旅費交通費	100,000
名簿管理費	50,000
總會懇親会特別会計	100,000
雑費	50,000
20周年事業費	800,000
予備費	440,000
合計	3,170,000

監査報告

厳正なる監査の結果、会計帳簿は正確かつ明確に記帳されており、収入支出とも適正で、昭和60年度、昭和61年度収支決算報告書及び貸借対照表の記載に相違ないことを認めます。

昭和62年10月18日

監事 (E1) 漆畑 豊
(M2) 金田 友義

昭和60年度運営会計経費収支決算報告書

拠出収入（昭和60年4月1日～昭和61年3月31日）

科目	決算額	予算額	比較
終身会費	2,460,000	2,460,000	0
受取利息	2,188,721	200,000	1,988,721
雑収入	63,560	100,000	△36,440
合計	4,712,281	2,760,000	1,952,281

経費支出

科目	決算額	予算額	比較
会議費	96,974	200,000	103,026
通信費	495,790	600,000	104,210
事務用品費	1,000	50,000	49,000
慶弔費	191,000	150,000	△41,000
同窓会だより	85,000	200,000	115,000
印刷費	233,000	200,000	△33,000
郵便振替料金	100	10,000	9,900
支部交付金	0	150,000	150,000
名簿管理費	212,450	0	△212,450
旅費交通費	0	100,000	100,000
減価償却費	0	0	0
總會懇談会特別会計	100,000	100,000	0
雑費	4,845	50,000	45,155
剰余金・予備費	3,292,122	950,000	△2,342,122
合計	4,712,281	2,760,000	△1,952,281

昭和60年度貸借対照表

(昭和61年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
現金	328,460	前受金	2,340,000
郵便振替	47,220	什器備品基金	3,850
郵便貯金	4,649,148	減価償却引当金	34,650
銀行普通預金	199,769	借入金	0
銀行定期預金	8,160,000		
未収金	2,295,000	未収金引当金	2,295,000
仮払金	50,000		
什器備品	3,850	剰余金	11,059,947
合計	15,733,447	合計	15,733,447

昭和61年度運営会計経費収支決算報告書

拠出収入（昭和61年4月1日～昭和62年3月31日）

科目	決算額	予算額	比較
終身会費	2,340,000	2,340,000	0
受取利息	771,252	700,000	71,252
雑収入	75,000	100,000	△25,000
合計	3,186,252	3,140,000	46,252

経費支出

科目	決算額	予算額	比較
会議費	214,368	200,000	△14,368
通信費	587,490	600,000	12,510
事務用品費	4,160	10,000	5,840
慶弔費	136,470	150,000	13,530
同窓会誌	698,250	700,000	1,750
印刷費	143,560	200,000	56,440
郵便振替料金	500	10,000	9,500
支部交付金	0	150,000	150,000
旅費交通費	0	100,000	100,000
減価償却費	0	0	0
雑費	14,670	20,000	5,330
名簿管理費	30,000	50,000	20,000
予備費		950,000	
当期剰余金	1,356,784		△406,784
合計	3,186,252	3,140,000	△46,252

昭和61年度貸借対照表

(昭和62年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
現金	557,824	借入金	0
郵便振替	121,720	前受金	2,370,000
郵便貯金	5,028,516	什器備品基金	3,850
銀行普通預金	903,321	減価償却引当金	34,650
銀行定期預金	8,160,000		
未収金	2,295,000	未収金引当金	2,295,000
仮払金	50,000		
什器備品	3,850	剰余金	12,416,731
合計	17,120,231	合計	17,120,231



沼津高専同窓会創設 20周年記念事業報告

会長 諏訪部 豊

同窓会創設20周年を記念して母校図書館前に建立しておりました記念碑が昨年10月末、無事に完成いたしました。そこで11月1日(日)同窓会総会終了後、除幕式をとり行いましたところ、慶伊校長をはじめ市川名誉顧問(市川先生には碑文の校歌を筆して頂きました)、小松先生他教職員の方々、記念碑を施工した石宗石材店山口社長、他多数の方々の御出席いただきました。

添付の写真のとおり立派な記念碑が出来上り、慶伊校長から「素晴らしいプレゼントを頂いた」とのおほめの言葉を頂戴いたしました。これもひとえにこころよくきよ金に御協力頂いた同窓会員諸氏のおかげであります。まことにありがとうございます。



また、除幕式に引き続き行われました20周年記念披露を兼ねた懇親会も盛大にとり行われましたことを合わせて御報告いたします。

なお、きよ金して頂いた方々には決算報告書及び記念品を郵送いたしました。まだ届いていない方はお知らせ下さい。